

## I 研究主題

**主体的・協働的に学び、考えを広げ深める子供の育成****～ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実～**

## II 主題設定の理由

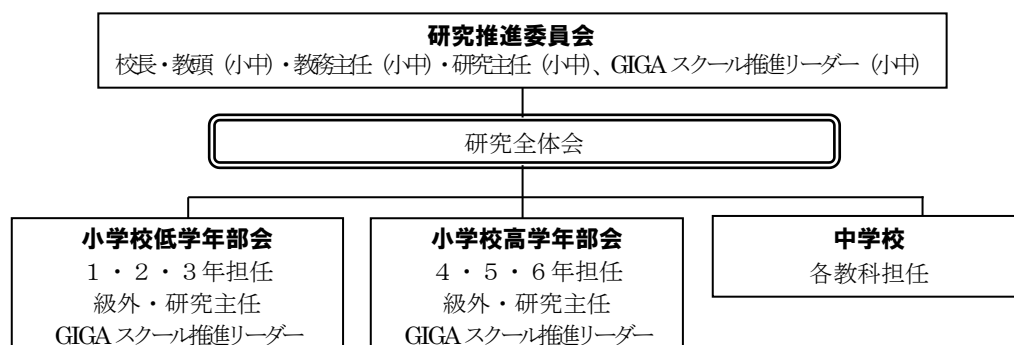
本校では昨年度、授業改善の重点を3つに絞って研究を進めてきた。①教師は、どの資質・能力をこの授業でつけたいと思っているかを明確にした上で学習課題を設定する、②つけたい力をつけるための効果的な対話的学習を展開する、③学びを実感させる振り返りとして、視点を与えた振り返りを行う、というものである。この取り組みの中で、教員一人一人の授業改善が進み、共通実践の中で橋立中学校としての授業スタイルは確立してきた。また、生徒の学習状況は落ち着き、学習課題に真面目に取り組む態度が構築できた。

一方、授業改善の進捗には教科の差があり、研究主題として設定した生徒の姿の点ではまだ不十分である。具体的には、知識を獲得した後に、その知識を活用し表現するには至っていない。また、積極的に、問題を自ら発見し、課題を解決することや、学習の中で自らを高めようとする生徒が少ない。

このような中、今年度、本校は国の「GIGAスクールにおける学びの充実事業 リーディングDXスクール事業」及び県の「GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業」の指定を受けた。これらの事業は、令和の日本型学校教育の実現に向け、GIGAスクール構想の実現を具現化するものである。具体的には、基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させた上で、思考力・判断力・表現力をつけることや、生徒の興味関心も大切にして一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する「個別最適な学び」と、多様な考え・力を持つ他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができるような資質・能力を育成する「協働的な学び」の充実が中心となる。まさに、課題と捉えている生徒の姿を改善するための方向性と捉えている。

そこで、今年度の学校研究では、ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実で、「教師と生徒がつながる」、「生徒同士をつなげる」をキーワードに、基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等の育成を目指していく。また、取り組みの検証を確実にを行い、短期PDCAサイクルのもと、柔軟に取り組む内容を改善するとともに、外部に積極的に発信していくことで、外部からの客観的な視点も学校研究に取り入れることで、学びの場を広げ、自ら協働的に学び考えを広げていく生徒の育成を目指す。

## III 研究の組織



【学校教育目標】

心豊かにたくましく 自主的に活動し 自らの生き方を創造する 児童生徒の育成

主体的・協働的に学び、考えを広げ深める子供の育成

～ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実と社会につながる学習の充実～

「個別最適な学び」・「協働的な学び」の充実

教師と生徒がつながる

ICTの活用で

- ・授業の課題、授業の流れの提示
- ・授業中の取り組み状況の素早い把握
- ・授業に連動した宿題と取り組み状況の把握

など

教科の特性に応じた取り組み

生徒指導の実践上の4つの視点

学習基盤づくり

生活3原則

学習の習慣化

生徒同士をつなげる

ICTの活用で

- ・活発な意見発表
- ・付箋での個の考えの共有とグループの意見構築
- ・学びのアウトプット
- ・共同編集による学習のまとめ
- ・振り返り活動の推進

など

教科の特性に応じた取り組み

「基礎的・基本的な知識技能等」・「思考力・判断力・表現力等」・「粘り強く学習に取り組む態度」

日常的なICTの活用  
(学校生活での)

日常的な授業公開

定期的な  
模擬授業・研究授業

全教職員による  
OJT

情報収集

発信

国指定「GIGAスクールにおける学びの充実事業 リーディングXスクール事業」  
県指定「GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業」

校外教員・専門家、オンライン授業

## V 研究計画

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究計画の作成</li> <li>・ 研究推進委員会（今年度の研究計画）</li> <li>・ 校内研修会①（小中合同）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画訪問準備</li> <li>・ 校内研修会② 5月下旬 指導案検討会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月計画訪問（谷口）</li> <li>・ 校内研修会③（リーディングスクール研修会）（小中合同）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究推進委員会（1学期の研究振り返り、2学期からの研究の重点について）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修会④（大学教員講話）（小中合同）</li> <li>・ 模擬授業（小学校）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修会⑤</li> <li>・ 小中合同授業研究会（道徳）・研究授業・要請訪問（谷口）</li> <li>・ 国語科研究授業（小森）</li> </ul>
10月	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学科研究授業（南出）：研究発表会</li> <li>・ 社会科研究授業（佐々木）</li> <li>・ 校内研修会⑥（実践報告に向けて）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究推進委員会（2学期までの研究振り返り、3学期の研究の重点について）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究のまとめ</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修会⑦</li> <li>・ 技術・家庭科研究授業（荒木）</li> <li>・ 研究推進委員会（今年度の成果と課題及び来年度の方向性）</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度に向けて</li> </ul>

※研究授業を各教科1回ずつ目指す。